

令和6年 6月 11日

長野県知事 様

## 令和6年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和6年度 から 令和7年度	
会社名	株式会社 こうりょう	
住所	〒384-0084 長野県小諸市大字耳取323番1	
代表者名	小林 秀気	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	事業本部	
担当者名	武井 翔一	
連絡先	TEL	0267-26-1230
	FAX	0267-26-1231
	電子メールアドレス	<a href="mailto:info@kouryo-net.jp">info@kouryo-net.jp</a>
ホームページアドレス	<a href="http://www.kouryo-net.jp">http://www.kouryo-net.jp</a>	

## 1 産業廃棄物3R実践方針

産業廃棄物の減量化・適正処理・分別の徹底により再資源化に取り組む。

以下の項目を重点事項とする。

1. 排出事業者及び処分業者と産業廃棄物に関する情報を共有し、法規制等に従って適切な収集運搬を行う。
2. 減量化・適正処理に関する情報収集により、排出事業者・処分業者に助言・提案を行う。  
適切な車両整備・車両運行によりエコ運転に努め、環境保全に貢献する。

## 2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	R6年度目標値	R5年度実績値	R4年度実績値	R3年度実績値
総排出量の推移 (t・kg・m <sup>3</sup> )	5977.80	5985.20	3431.90	5505.30
リサイクル量の推移 (t・kg・m <sup>3</sup> )	4977.80	4985.20	2431.90	4505.30
売上高の推移 (円)	210,000,000	91,600,000	123,600,000	213,300,000

### 3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

#### ・産業廃棄物処理責任者等

職	氏 名	職務内容
代表取締役	小林 秀気	全体における総括責任者
常務取締役	武井 翔一	環境管理責任者として、教育の推進
営業部	角田 誠	数値の把握や教育の推進

#### ・産業廃棄物の種類、運搬量、運搬方法、許可車両等に関する情報公開

ホームページ等を利用し、廃棄物の種類、運搬方法、運搬実績など情報公開を行う。

#### ・従業員教育（研修）計画

環境教育：エコアクション21の取り組みについて業務との統合を進める。

安全衛生教育：交通安全教育、運転添乗チェックの実施。

#### ・処分業者への協力要請

処分業者の廃棄物削減・リサイクルの推進を図る為、資源化率向上の為の情報を共有する。廃棄物の削減・適正な処理を行うことが排出事業者・収集運搬事業者・処分業者の3者にとって最善であることを確認し、廃棄物削減・リサイクルの推進への協力要請を行う。

#### ・不法投棄・不適正処理を発見した場合における協力体制

不法投棄・不適正処理を発見した場合の対応方法については、社内教育・朝礼等を通じ従業員へ周知・情報提供の協力を要請する。不法投棄など不適正処理と思われる廃棄物を発見した場合は、直ちに上司に報告すると共に関係機関に通報する。

#### ・自社処理廃棄物の管理方法

1. 許可されている管理保管基準を順守する。
2. 保管場所の明示を行い、従業員に保管基準を周知している。
3. 解体工事に伴い発生する廃棄物についても品目ごとに分別・適正排出し、定量的に管理している。
4. 周囲の環境を損なうことのないよう細心の注意を図る。

#### ・その他協定の目的達成のため、独自に取り組む事項（例：運行管理など）

1. エコアクション21認証取得・維持
2. 電子マニフェストの導入・活用
3. ドライブレコーダーを活用し、急発進・急ブレーキ等に対する注意喚起、運転状況の把握、安全運転・エコドライブの実践。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

#### 4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種 別	当年度目標値	過年度実績値		
	R 6 年度 目標値	R 5 年度 実績値	R 4 年度 実績値	R 3 年度 実績値
Rc-40	85	75	70	80
アスファルト合材	70	50	50	60
全 体	80	60	60	70